

ICカードの特長

ICカード（接触式）

<接触式ICカードとは>

ICチップを内蔵したカードで、ICの接点を端末のヘッドに接触させてデータの読み取り、書き込みを行います。

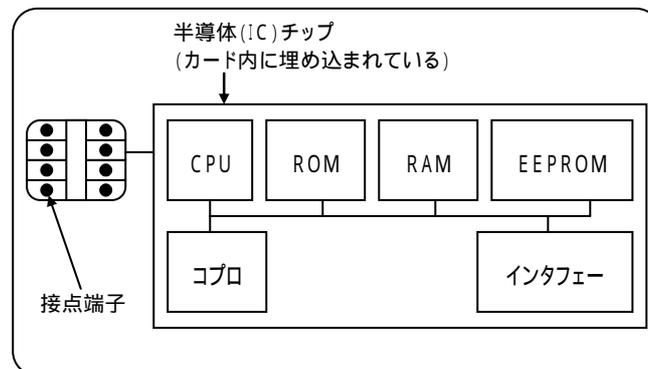
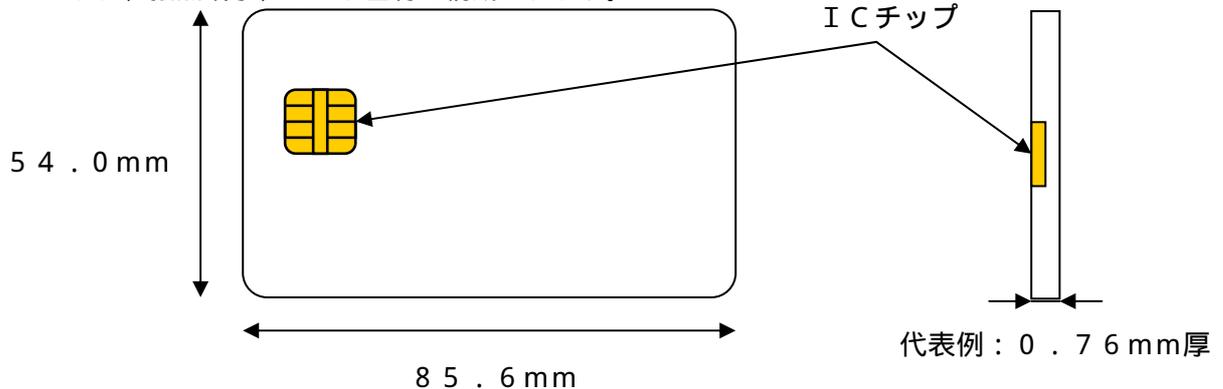
<市場概要>

磁気プラスチックカードは、昨今の偽造問題からクレジットカードなど用途によりICカード化が推進されています。

既にクレジットカード・キャッシュカードといった金融系カードの接触式ICカード化が始まっています。

<接触式ICカードタイプ>

ICチップ、接点端子、カード基材で構成されます。



ICカード（非接触式）

<ICカード（非接触式）とは>

ICを内蔵したカードで、リーダライタに接触せずにデータの読み取り・書き込みを行うことができます。

<市場概要>

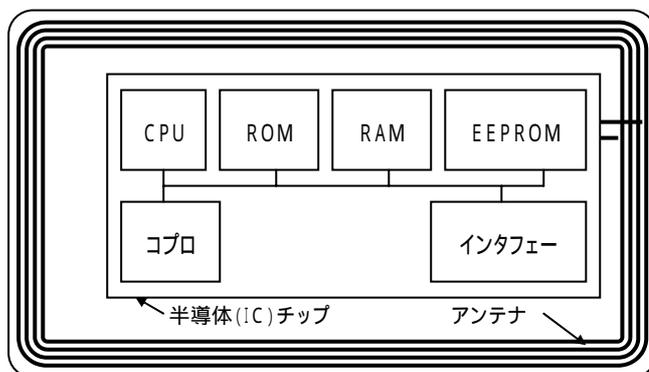
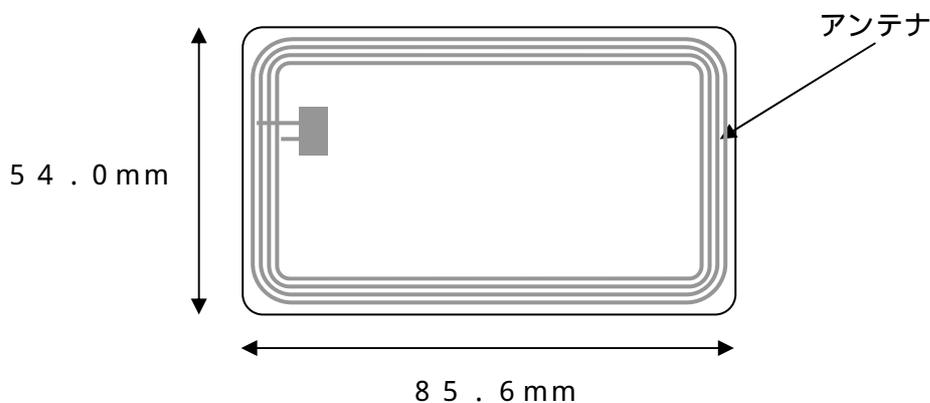
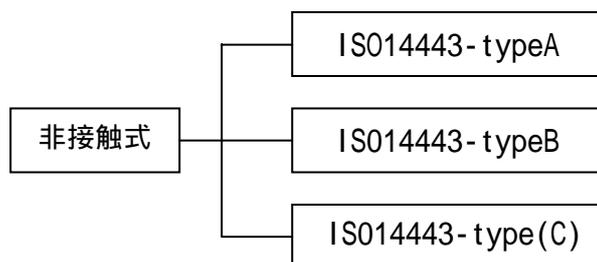
昨今では、JR東日本のsuicaが有名です。

社員証や小売店のポイントカードとしても数百万枚使用されています。

また、自動車運転免許証・鉄道定期券（乗車券）等への導入が始ろうとしています。

<非接触ICカードタイプ>

半導体チップ、アンテナ、カード基材で構成される。



ICリライトカード

< ICリライトカードとは >

非接触ICカードとリライト表示（ロイコタイプ）を組み合わせたカードです。

< 使用例 >

- ・鉄道の定期券 Suica は、JR 東日本の登録商標です。ICOCA は、JR 西日本の登録商標です。
JR 東日本（首都圏エリア）の「Suica」、JR 西日本（関西エリア）の「ICOCA」で非接触式ICカードを定期券として使う運用が既にスタートしています。
定期券を改札機に取り付けられたリーダに軽く触れるだけで、定期券の有効区間・期限等が確認され、通過できる仕組みです。
本来、機械が有効な定期券であるかを確認するので券面に有効期限等の表示は不要ですが、やはり利用者には必要な情報であることから表示が必要とされました。
ICカード定期券は現在の磁気PET券と異なり、長期間繰り返し使用（リユース）することが前提のため、券面の“表示”は書き換えのことができることが求められ、リライト素材で運用されることになりました。

